

<平成 25 年度>

社会教育部の運営方針

社会教育課
文化財課
スポーツ振興課
中央図書館

■基本情報■

<担当事務>

- (1) 社会教育に係る調査研究、企画立案に関すること。
- (2) はたちのつどいに関すること。
- (3) 文化財に係る調査研究、保存活用に関すること。
- (4) 埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
- (5) 社会体育及びスポーツ振興に関すること。
- (6) 図書館サービスに係る企画・運営に関すること。
- (7) 所管施設の管理運営に関すること。

<部の職員数>H25年4月1日現在

正職員	68名
再任用職員	11名
任期付職員	57名
非常勤職員	12名
合計	148名

<教育機関の職員を含む>
※臨時職員を除く

■基本方針■

平成 25 年度は、社会教育における市民ニーズの把握に取り組み、各種事業や所管施設の運営に反映することにより各分野における市民満足度の向上を図ります。

これにより教育委員会の基本目標である「学びを支え心をつなぐ社会教育」、「歴史文化遺産の保存と活用」、「スポーツ活動の活性化」、「生涯学習を支援し、情報活用環境を高める図書館サービス」の達成をめざします。

I 重点施策・事業

◆登録文化財制度創設事業

成立年代や性格等の理由により文化財指定にはなじまないが、地域に連綿と受け継がれ、地域の歴史にとって欠くことのできない文化財を登録する制度を創設します。平成 25 年度は登録文化財に関する要綱を制定し、登録文化財候補の調査を行います。

◆特別史跡百済寺跡再整備事業

特別史跡百済寺跡の再整備に向けた発掘調査を継続して進めるとともに、平成 25 年度に基本計画・基本設計を完了させます。

◆社会教育主催事業

人が地域で生きていく上で必要な社会制度等に関する情報や知識等を学ぶ機会を提供するため、講座や講演会を開催します。

◆トップアスリートとのふれあい事業

トップアスリートとふれあう機会をつくることで子どもたちの夢を育み、青少年のスポーツへの関心を高め、夢と魅力あふれるまちづくりに寄与します。平成 25 年度は水泳と女子サッカーのオリンピック選手を招聘し、教室を開催します。

◆子ども読書活動推進事業

乳幼児・児童から中高生までの子どもたちが読書に親しみ、読書を楽しめる環境づくりを推進します。また市立図書館と学校図書館との連携を推進します。

◆図書館サービス推進事業

図書や雑誌、電子情報などの幅広い情報の提供を行うとともに、読書会や講演会などの図書館文化事業を実施します。また市民の疑問等の解消に役立つレファレンスサービスの周知に努め、市民に利用を働きかけます。

II 行政改革・業務改善

<行政改革実施プラン（前期）の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
19.市有財産等の有効活用 ④野外活動センター活用計画の策定	進入路整備を踏まえた野外活動センター活用計画の策定に取り組む。
27.市内スポーツ施設の管理運営体制の一元化	スポーツ施設の管理運営体制一元化に向け検討を行う。
28.生涯学習施設と図書館の効率的な管理運営	施設の役割を踏まえた今後の管理運営方針を策定する。
29.外郭団体等における中期的な「経営プラン」の策定	(公財)枚方体育協会に「経営プラン」の策定をはたらかけ、(公財)枚方市文化財研究調査会については行政との役割分担等について見直しを行う。
37.指定管理者制度の導入拡大	伊加賀スポーツセンターに指定管理者制度の導入を図る。
44.施設の使用料の見直し ③市立学校園の施設開放事業	市立学校園施設開放事業と市立小中学校体育施設開放事業との事業統合などの方針を決定し、電気使用料等の実費相当額の負担について具体化を検討する。

<事務事業総点検に係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
社会教育主催事業	社会教育の役割を踏まえ生涯学習課との連携を強化し、効果的な事業を企画実施する。
古文書講座開催事業	受講料の徴収に向けた受講者アンケートを実施する。
図書館運営事業	市内全域サービスを基本とした中央図書館、分館、分室の各図書館施設と自動車文庫について、サービスにおける最適な役割分担や配置を検討する。

<業務改善運動のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
市民対応における市民満足度の向上	市民等からの社会教育分野における専門的な問合せに対し、各分野において所属職員が同じレベルで対応できるよう知識や情報の共有化を図る。
省エネ意識の向上	普段から省エネを意識し、事業やイベントにおいても省エネ行動を励行する。

III 予算編成・執行

- ◆文化財保存事業に国庫補助金の活用を図ります。(6件 1350万円)

IV 組織運営・人材育成

- ◆文化財行政やスポーツ行政、図書館行政など専門的な業務を担う部内各分野の職員が知識や技術を積極的に習得し、業務に反映させることにより人材育成を図ります。また、質の高い市民サービスを提供するため、各分野において、業務に係る職員研修を実施し、職員の資質向上をめざします。
- ◆職員一人ひとりが普段から市民目線に立った事務改善を意識し、効果的・効率的な事務執行に努めます。

V 広報・情報発信

- ◆ホームページの充実
社会教育部関係の事業を効果的にPRするための工夫を検討実施します。また、開催結果などをタイムリーに伝えるためにホームページの更新作業を密に行います。
- ◆効果的な事業PR
広報やホームページだけでなく、関連事業や他の市主催事業など様々な場面で事業宣伝活動を行います。また、マスコミへの情報提供を積極的に行い、「教育文化都市ひらかた」を広く発信していきます。